
RI・腫瘍病態学講座

【研究プロジェクト名および概要】

- I. 腫瘍内不均一性に着目した悪性腫瘍の病態解明に関する研究
- II. 悪性腫瘍の新規モデルマウス樹立に関する研究
- III. 放射線・Radioisotope (RI) を用いた診断および治療開発に関する研究
- IV. 放射線・RI の医学教育に関する研究

RI・腫瘍病態学では、モデルマウスを用いた悪性腫瘍・難治性疾患の病態解明に関する研究を行っています。これまで、免疫不全マウスを用いたモデルマウスにより、腫瘍内不均一性に着目しながら、液性因子や転写因子の制御機構に焦点を当て、悪性腫瘍の病態解明および新規治療法の開発に取り組んできました(*Cancer Sci* 2012, *Cancer Lett* 2013, *Int J Hematol* 2013, *Eur J Cancer* 2014, *J Cancer Res Clin Oncol* 2015, *Leuk Res* 2016, *Oncogene* 2017, *Neoplasia* 2024)。さらに、遺伝子改変マウスを用いて、がん抑制に関わるシグナル伝達経路の機能解析を行ってきました(*Oncogene* 2017, *Development* 2018, *Cancer Cell* 2021, *Nat med* 2022)。

また、アイソトープ総合施設、大江地区・黒髪地区アイソトープ施設と密接に連携し、放射線・RI を用いた研究支援や教育を行うとともに、放射線・RI を用いた診断・治療法の開発に取り組んでいます(*Explor Target Antitumor Ther* 2024, *Cureus* 2024, *Blood Rev* 2025, *World J Clin Oncol* 2025)。

【教職員および大学院学生】	【メールアドレス(任意)】	【研究プロジェクト】
准教授	後藤 裕樹 hgoto20@kumamoto-u.ac.jp	研究の統括
技術補佐員	高野 真理子	I, II, III, IV
リサーチサポートアシスタント	福島 久美子	III, IV
大学院博士課程	上田 裕二郎	I, II, III
大学院修士課程	上野 竜世	I, II, III
客員准教授	Aussara Panya	I, II
客員准教授	Sudjit Luanpitpong	I, II
客員助教	Somponnat Sampattavanich	I, II
客員助教	Nuchjira Takheaw	I, II
客員助教	Pachara Sattayawat	I, II

【連絡先】 電話: 096-373-6509 Fax: 096-373-6510

【ホームページ】

http://irda.kuma-u.jp/divisions/radioisotope_and_tumor_pathobiology/radioisotope_and_tumor_pathobiology.html

【特殊技術・特殊装置】

1. 細胞増殖・細胞死・細胞周期の解析
2. 超免疫不全マウスを用いた *in vivo* 解析
3. 血液細胞の分化誘導
4. 代謝・活性酸素の分析
5. テトラサイクリン等の薬剤を用いた遺伝子制御
6. 次世代シーケンサーを用いた解析
7. 免疫組織染色
8. RI を用いた細胞研究

【英文論文】

1. **Goto H**, Takano M, Shiraishi Y, Luanpitpong S.

Immuno-positron emission tomography as a new frontier in imaging hematologic malignancies.

World J Clin Oncol. 16(9):108585 (2025)

DOI: 10.5306/wjco.v16.i9.108585

2. Saisuwan K, Boonnate P, **Goto H**, Nakagawa R, Abe M, Hirabayashi K, Fujiwara Y, Kikuta K, Okada S.

Establishment and characterization of TK-DDCS1: a novel IDH1 mutated Dedifferentiated Chondrosarcoma cell line.

Hum Cell. 38(4):116 (2025)

DOI: 10.1007/s13577-025-01235-6

3. **Goto H**, Shiraishi Y, Okada S.

Continuing progress in radioimmunotherapy for hematologic malignancy.

Blood Rev. 69:101250 (2025)

DOI: 10.1016/j.blre.2024.101250